

## 第1回 新大橋景観検討委員会 議事要旨

### 日時及び場所

日時：平成28年12月26日（月）  
（現地視察）13時20分～14時30分  
（会議）15時00分～17時30分  
場所：（現地視察）新大橋周辺  
（会議）島根県職員会館多目的ホール

### 出席者

飯野委員、大屋委員、小草委員、柴田委員、二井委員、原田委員、藤居委員、本間委員、  
吉田委員、渡部委員

### 議事次第

- 1) 開会
- 2) あいさつ
- 3) 委員紹介
- 4) 委員会規約（案）
- 5) 委員長の選任
- 6) 議事
  - ①事業概要と景観検討の進め方（資料1）
  - ②設計条件と課題（資料2）
  - ③新大橋をとりまく環境とコンセプトづくりに向けて（資料3、資料4）
- 7) 閉会

### 配付資料

委員会次第  
座席配置図  
現地視察ルート図  
委員名簿  
委員会規約(案)  
資料1 事業概要と景観検討の進め方  
資料2 設計条件と課題  
資料3 新大橋を取り巻く環境  
資料4 コンセプトづくりに向けて

### 議事概要

1. 委員長選出等について
  - ・委員長は二井委員を選出。
  
  - ・委員長の職務代行は二井委員長が大屋委員を指名。
2. 委員会規約について
  - ・事務局案にて承認、同日付けで施行することを決定。
3. 議事①、議事②について
  - ・松江大橋、新大橋、くにびき大橋の3橋の桁の高さが分かるとよい。
  
  - ・橋詰が1mぐらい上がるとのことで、現状から全体がどのぐらいの高さになるのか、景観検討のなかで参考になると思うのでできれば分かるとよい。
  
  - ・現況の河積阻害率と、大橋川改修の河川幅の具体的な数値を教えてください。
4. 議事③、議事④について
  - 【全般】**  
[意見]
    - ・この委員会では新大橋の景観だけを議論するではなく、まちの魅力を高めるためにどういうあり方がよいのかまで考えていきたい。
  
    - ・新大橋の主体である県や大橋川の主体である国、まちづくりの松江市が一体となって松江の魅力アップにつなげられればよい。
  
    - ・大橋川改修の国、新大橋の県、町並みや景観の市が一体となり、100年のスパンでいろいろな角度からよりよい松江を考えていかなければならない。
  
    - ・まちの活性化という観点からも「松江のまち全体の魅力アップに貢献できる橋」とはどんな橋なのか考えていかなければならない。
  
    - ・耐震基準を満たしてない松江大橋から新大橋への公共交通（バス）の機能転換を考えないといけない。

#### 【大橋川沿いの水辺空間と新大橋】

[意見]

- ・人が歩き、ゆっくり時間を使うような空間づくりや、人の動線、水辺に近づきやすさなどについても新大橋を考えるなかで検討するとよい。
- ・大橋川沿いの水辺のルートが橋で遮断されているが、連続した水辺のルートをつくることが重要である。
- ・大橋川周辺まちづくり基本計画のなかで、水辺を回遊することが基本的な方針として打ち出されているので、橋の形状や擦り付け部分はその方針を踏まえて議論していく必要がある。
- ・魅力的な大橋川沿いを歩くルートは極めて大事なことであり、人の流れを生み出せるかまで議論できるとよい。

#### 【橋詰空間】

[意見]

- ・今の新大橋にはないが、橋詰空間のデザインは極めて重要で、橋の美しさを決定づけるところと言ってもよい。
- ・大橋川の水辺沿いをどう使うか、どのような姿を目指すのかを展望して橋詰をつくることは大事。
- ・新大橋北側の橋詰空間においては、昼間は橋側から河岸沿い西へ進入する車は少ないと思われるので、車を直接乗り入れるべきではない。美しくないし危険である。
- ・居住している人たちにとって車の通行を禁止するのはどうか。居住者とのコンセンサスが必要。
- ・居住者にとっては、目の前の道路が高くなって非常にうっとうしい感じになるのでは。直接車で新大橋の道路に出ることができなくても回って出ればよいのではないか。
- ・人が歩くということは車をある程度排除するということになるが、議論していく価値はある。

#### 【新大橋の歩行・自転車空間】

[意見]

- ・宍道湖大橋と松江大橋は、踊り場のようなもの（アルコーブ）が整備されているが、新大橋もそのような空間を考えていければよい。
- ・アルコーブをつくるかどうかは別として、橋の上に佇んで大橋川を眺めたいような空間づくりは大事。
- ・自転車で橋を渡り通学している学生も結構いるので、自転車通学の目線での検討もあるのではないか。
- ・橋の前後も整備したうえで歩行空間や自転車空間をつくるべき。
- ・公共交通が充実していないエリアでは、自転車の使い勝手は重要。自転車専用通行帯を設ける区間と設けない区間との接続がうまくできるのか、橋梁上の歩道と自転車道の幅員構成の議論も必要かもしれない。

#### 【水辺・水面利用】

[意見]

- ・昔は骨材を運ぶ船や汽船が往来しており賑わいがあった。筏船もあり風情があった。最近では船の往来が少なく、活気がないのは残念だが、最近のイベントとして、燈籠流しが大変風情があり、兩岸を歩く人が多く一晩ではあるが賑わいがある。
- ・市民レガッタといった、水辺を利活用するまちならでの発想があってもよいのではないか。
- ・ぎりぎりまで水辺に近づける場所は川への転落事故が起こる可能性がある。川に落ちてしまった時の対応を考えないと水辺に近づけないということになる。その辺り示していただきたい。
- ・大橋川沿いを歩いてみると案外段差がないところがあり、ぎりぎりまで近づくと落ちる怖さを感じた。段差をうまく利用したアプローチなど、水辺に近づくの怖さを感じさせない工夫が必要ではないか。
- ・必要なところには柵を付けざるを得ないと思うが、高低差の処理をうまくしないと水辺に近いところはつくりにくい。

- ・柵を付けない場所での落ちた時の対策としては、浮き輪をすぐ手に取れるように配置するなどの手当をしているところが多いと思う。

- ・昔は水辺に降りられる石段があったが、風情があり安全であると感じていた。それを水辺に触れられるよい場所と考えるか、落ちそうで危険な場所と考えるかは、人によって違う。

#### 【橋のデザイン・ディテール】

##### [総括]

『シンプルなのにキラッと光る橋』を目指す。

##### [意見]

- ・水面や船からの景観も大事ではないか。

- ・『松江らしさ』は、個人差がかなりあり共有しづらいが、大橋川の本風景となるとそれぞれの世代で共有できる。

- ・新大橋を単体で考えるのではなく、周辺への波及・影響を考えながら、まちを一体にする先例となるようなデザインを設計してほしい。

- ・大橋川の短い区間に橋が何本もあるが、とりわけ新大橋から宍道湖大橋の間は比較的古い街並みが残っていて、その歴史的景観を大事にしようという意見は出てくると思う。新大橋の特徴づけについて、今後考えていかなければならない。

- ・周辺の町並みを考えると、将来を見通しても高層の建物が立ち並ぶことは想像がつかないと思うので、橋の検討にあたっては、今ある建物のスケール感を大事にするということは重要な視点。

- ・大橋川改修計画では、松江大橋からくにびき大橋までの区間について景観に配慮した整備が重点的に行われる計画になっている。新大橋もその一連の中で役割を持っており、例えば新大橋を歩けば松江大橋や柳並木が見えるといった機能は当然まちづくりや大橋川の景観計画のなかでも十分意識している点。

- ・松江大橋から新大橋を眺めた時に天気の良い日は大山が見えるので、そのような松江大橋からの眺めも意識するとよい。

- ・松江大橋を建てる時に、その当時、日本の橋ではあまりなかった展望台をわざわざ設置している。

- ・大変なお金を掛けてつくり、100年もそこに存在するものだから、松江の新たな景観となる橋をつくるという視点も必要ではないか。

- ・周りが映えるワンポイントを入れるなど構造物の色を考えるべきである。

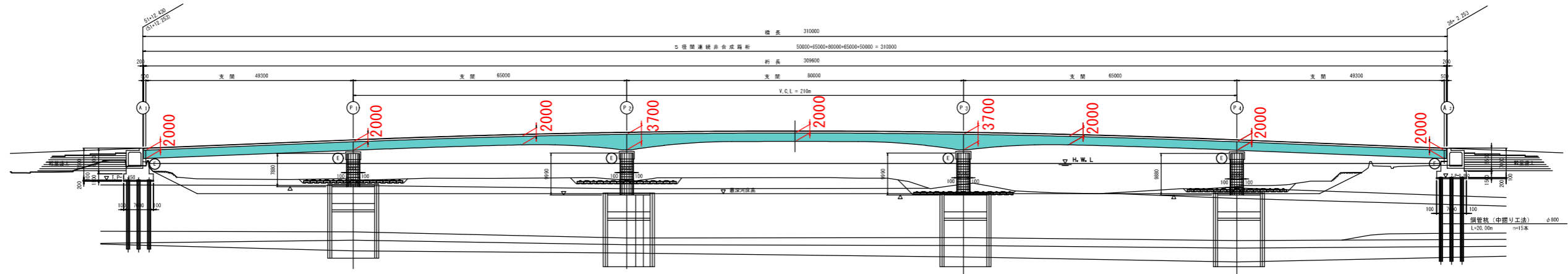
- ・くにびき大橋の親柱は縄のデザインになっており、歩く時にとてもよい感じがする。新大橋にも何かそういったものがあれば特色づけられる。

- ・他県の橋で、季節によって橋をライトアップする色を変えている事例がある。昼夜の効果などを考えた照明デザインも検討するとよい。

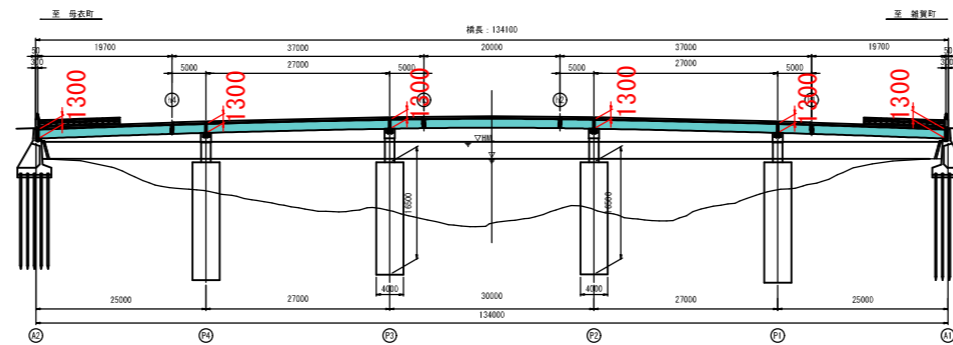
- ・高欄のデザインは非常に大事。松江大橋のように和風になるとかなりイメージは変わってくる。一方、今までの歴史的なまちから若い元気なまちになっていく可能性もある。そんな若い人の雰囲気の後押ししてくれる様な洗練された部分も議論の俎上に上がってくる。また、照明のデザインも重要なキーワードになる。

■ 既存橋梁の形状

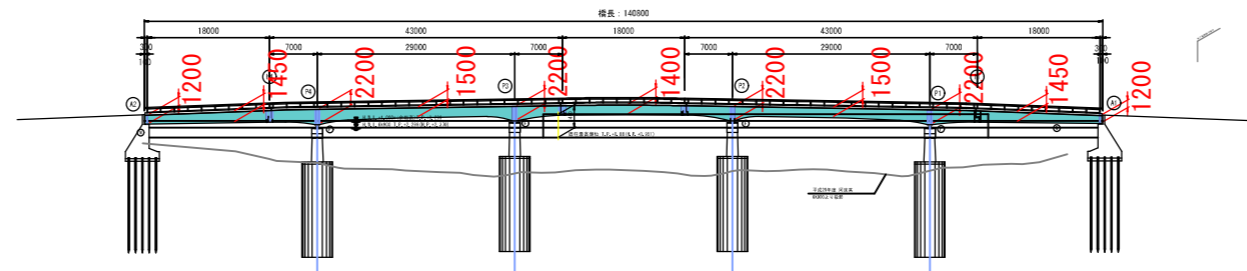
穴道湖大橋



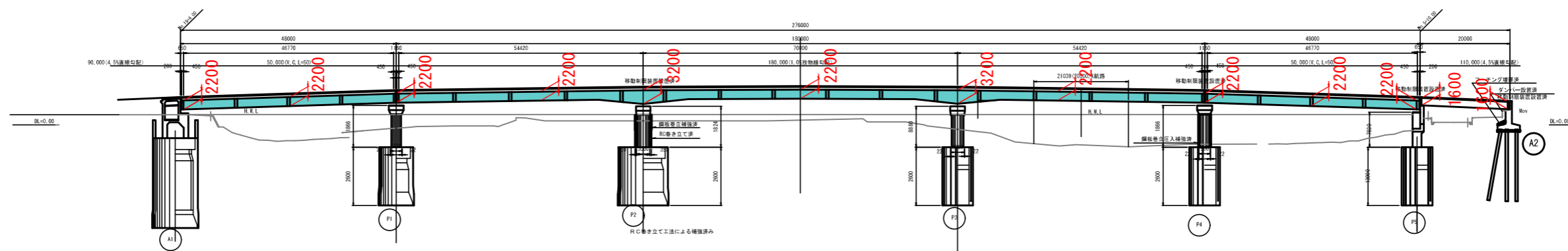
松江大橋

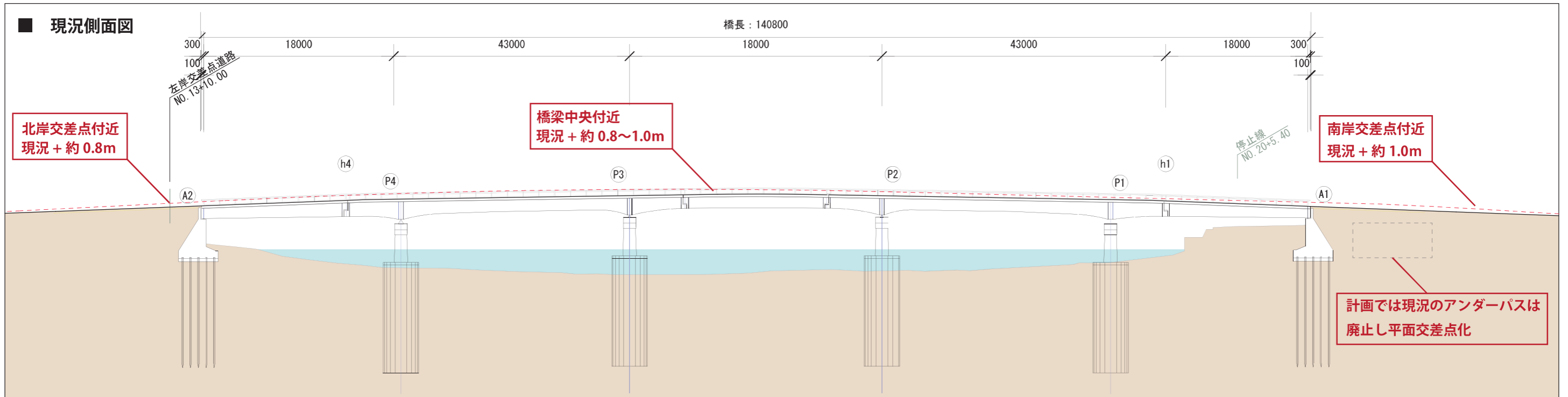


新大橋



くにびき大橋





■ 北岸現況写真



【課題】

路面が上がることに伴い、  
河岸道路や背後の民地、河川計画との調整も含めた橋詰の検討が必要

■ 北岸「現況イメージ」模型写真 (S=1/1000)

※イメージであり、実際とは異なる部分があります。

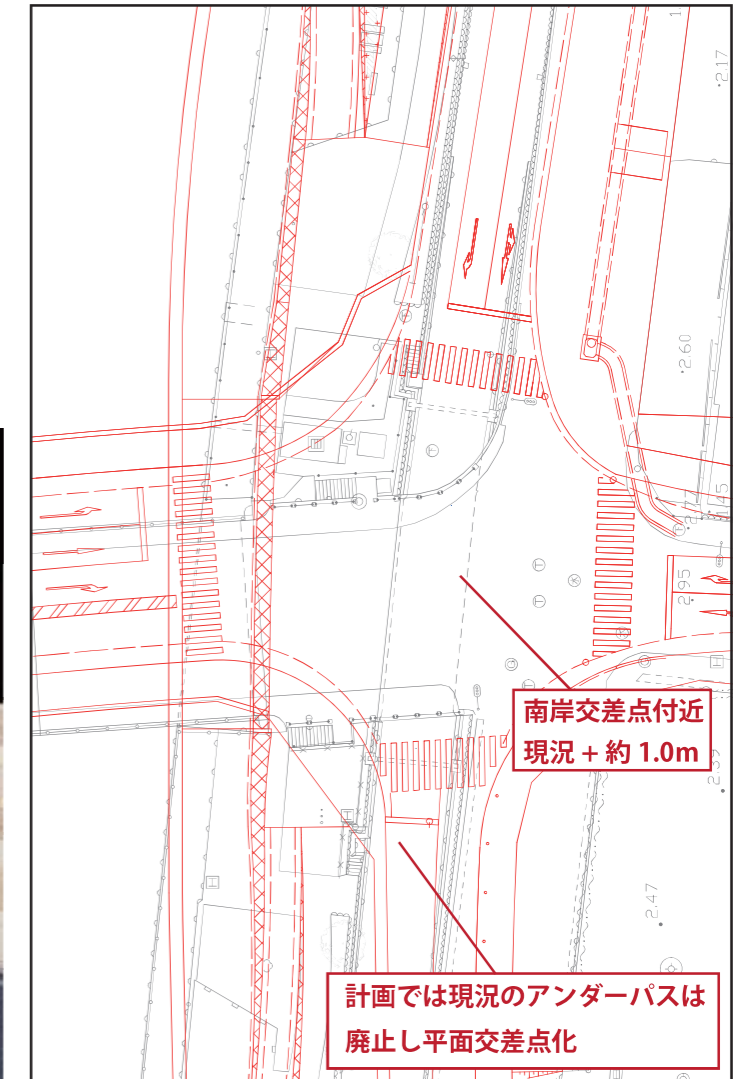


■ 南岸「現況イメージ」模型写真 (S=1/1000)

※イメージであり、実際とは異なる部分があります。



■ 南岸橋詰 計画平面図



## ■ 新大橋周辺におけるイベント利用

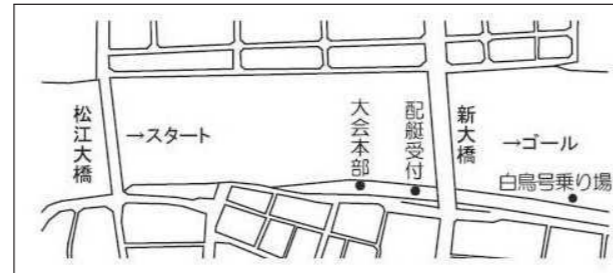
新大橋周辺にて開催されている次の二つの主要イベントについて  
その概要や利用状況をまとめる

いずれも ・大橋川を舞台とし、橋や川岸は観覧スペースとして利用  
・松江大橋から新大橋までを一体的に利用

### ① 市民レガッタ

- ・毎年夏場 2日間開催
- ・松江大橋スタート→新大橋をくぐるコース設定
- ・新大橋の南岸上流がメイン会場  
(本部・露店など)

出典：市民レガッタ公式 website



写真はすべて市民レガッタ Facebook より



新大橋の上流より



### ② 松江ホーランエンヤ

- ・「松江城山稲荷神社式年神幸祭」の通称
- ・日本三大船神事
- ・約 370 年前より続く
- ・10 年に一度開催 (次回は平成 31 年)
- ・約 100 隻の船行列
- ・河川内をグルグルと旋回するような順路

#### ■ 概要説明 (観光協会 website より引用)

祭りの期間は 9 日間。城山稲荷神社から御神輿を船団でお運びする「渡御祭」と阿太加夜神社本殿にお迎えし、七日間の大祈禱が行われるその中日に権伝馬踊りが奉納される「中日祭」、再び船団によって城山稲荷神社へと御神輿をお送りする「還御祭」の 3 つの祭礼が期間中行われます。

渡御祭と還御祭は、五大地と呼ばれる地域の人々が一同に集まり、色とりどりに装飾された各地区の権伝馬船の総数は 100 隻以上にも上り、大船行列を作る壮大な姿が楽しめます。



写真：平成 20 年伝統・ホーランエンヤ協賛会 website



写真：平成 21 年ホーランエンヤ website  
右下は平成 9 年フォトコンテスト入選作 (〜湖上の花〜 恩田 勝吉)

### ③ 灯ろう流し

#### ■ 概要説明 (しまね観光ナビ website より引用)

現在の形で始まったのが昭和 30 年頃と言われている水の都・松江のとうろう流し。毎年 8 月 16 日に開催。いくつもの橋をくぐりながら大橋川を流れていく無数のとうろうの揺らめきは、幻想的なふるさとの風景です。

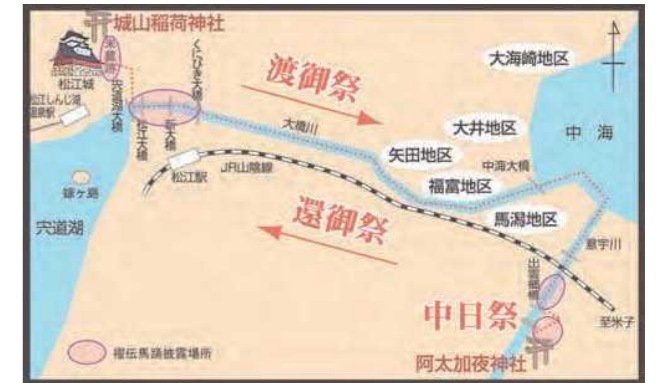


写真：渡部委員より提供



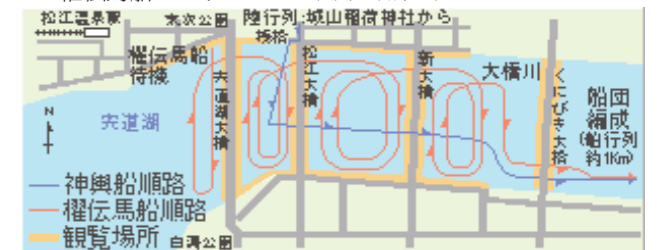
#### ■ 全体ルート

出典：ホーランエンヤ伝承館 website



#### ■ 権伝馬船ルート

出典：平成 9 年ホーランエンヤ website

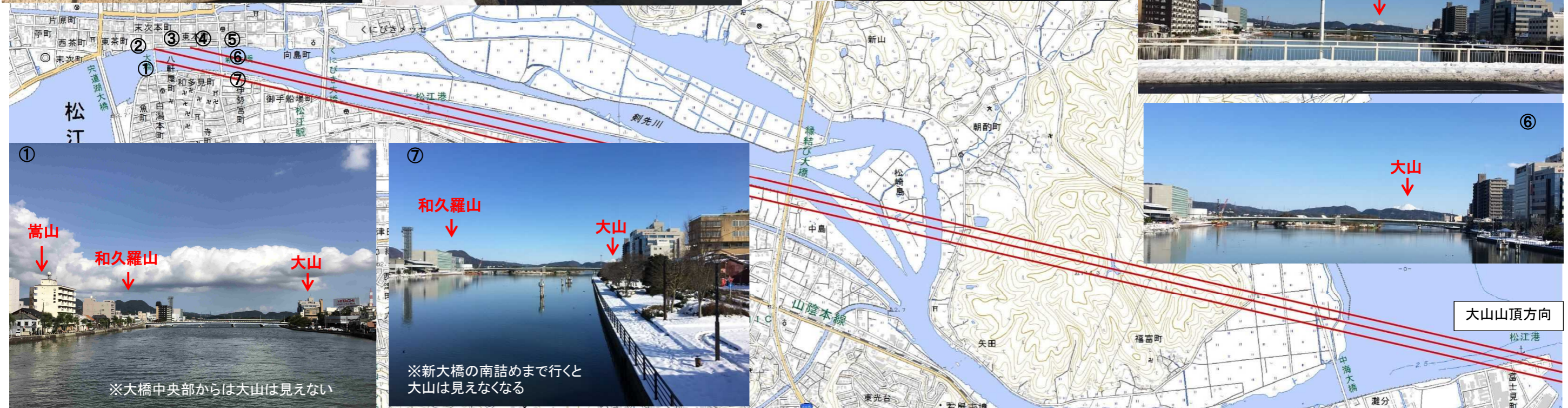


■ 大橋川周辺からの大山眺望

- 大橋川の松江大橋～新大橋の北岸からは、新大橋の背景に大山を望めるポイントがあり、新大橋の形状は、その景観に大きな影響を及ぼす。
- 上部に大きな構造物があると大山の眺望景観を損ねる可能性がある。
- 新大橋の橋上から眺望では、高欄や照明灯なども近景に入ってくるので、周辺の良い景観（大山、大橋川沿岸の街並みや並木など）に調和したデザインや位置とする必要がある。



- 北詰空間からの大山方向の眺望は良好であり、付帯施設のデザインや配置は重要な課題といえる。



大山山頂方向

## ■ 新大橋のデザインの特徴

### 初代 新大橋

大正 3 (1914) 年～昭和 6 (1931) 年



初代新大橋 (北岸上流より)

出典：松江今昔

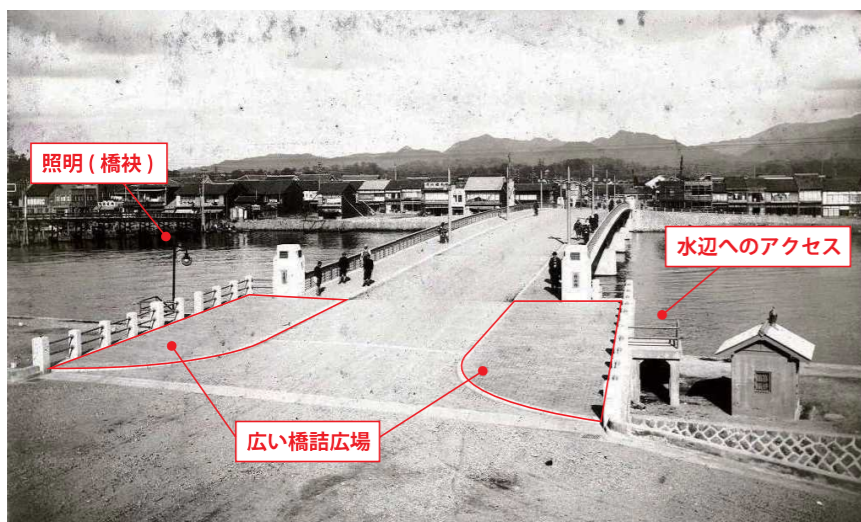
### 二代目 新大橋

昭和 9 (1934) 年～現在



二代目新大橋 (上流より)

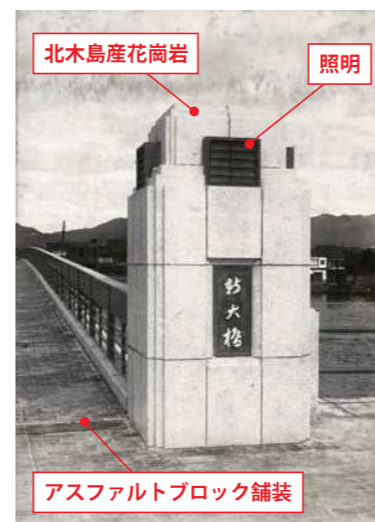
以下写真 4 点 出典：二代目新大橋工事記録写真集  
参考文献：土木学会誌 第二巻第十号 (昭和 9 年 10 月)  
「松江大橋架設工事概要」山岸安二



二代目新大橋 (南岸橋詰)



照明柱



親柱

### 松江大橋

- 江戸時代に架橋されてから 16 回もの架け替えが行われているが、(15 代目を除き) すべて伝統を生かした純日本風の姿である。
- 15 代目は、トラス橋であったがその姿に優美さが感じられず、松江の風景を阻害すると市民からは評判が悪かった。
- 16 代目では桁橋に架け替えられ、ふたたび純日本風の橋に戻った。

16 代目松江大橋 明治 44 (1911) 年～昭和 12 (1937) 年



(出典：松江絵葉書ミュージアム)



(出典：松江絵葉書ミュージアム)

### ■ 新大橋のデザインの特徴

- 二代目は、江戸期の雰囲気踏襲する松江大橋とは異なり、近代的な意匠の橋であった
- 照明や高欄などは、材料にこだわった洗練されたデザインである

→ 松江大橋が歴史をデザインとして表現してきたのに対し、新大橋は、架橋当時の先端技術や材料・意匠を持つ「新しい橋」として、市民に親しまれてきたのではないかと。